



# 喜二小 学校通信



笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい  
「やり続けて 本物にしよう !!」

発行：喜多方市立第二小学校  
平成29年1月20日



## 今年もよろしくお願ひいたします。 第3学期 目標は「必ず」と「0」



大雪になりましたが、事故なくけがなく第3学期もよいスタートが切れました。昨年よりも、笑顔で自分から「おはようございます。」と挨拶する子どもが増えています。冬休み中もお家できちんと挨拶をしていたことが想像できます。ご家庭でのしっかりとした教育に感謝いたします。

3学期は、「やり続けて 本物にしよう」に「必ず」という言葉を付け加えました。370名全員に達成感を味わわせて、それぞれの学年を修了・卒業させたいと思います。

箱根駅伝での青山学院大学の3連覇が大きく報道されましたが、原監督の言葉の中から学ぶことがたくさんありました。

- 失敗体験よりも、小さな成功体験を積み重ねること。
- 目標の立て方が大事。少し頑張ると達成できそうな目標を立てること。

3学期は、「0」も目指します。いじめや交通事故などの「0」の重みを全職員で大切にしていきたいです。

### 脳をたくさん使わせる＝「見方・考え方」を育てる

人工知能（AI）が飛躍的に進化するこれからの社会を生き抜くためには、人間にしか出来ないこと（人間の強み）を小さい頃から意識して伸ばしていくことが大切だと思います。つまり、感性や創造性、目的を自ら決め判断して柔軟に解決していく力を育てることだと思います。

その一つが、子ども達が「自分で考える」という場面を増やしていくことです。

- 「～しなさい。」「～してはだめです。」「これは～です。」と結論を教える場面が多くないか。
- 子ども自身が、「どう思うか。」「どう判断するか。」また「そう思ったり判断したりするのはなぜなのか。」ということを考えるように問いかける場面を増やしているか。

学校でも家庭でも大人の意識を変えなければならない部分があると感じています。

見方・考え方を育てるには脳、特に前頭前野をたくさん使わせて活性化することもポイントの一つです。ゲームやテレビの時間が長いと、前頭前野は活性化しません。今一度、子ども達のテレビやゲームの視聴の様子やスマートフォンなどの与え方を見直すことも必要です。

★第一中学校区では、ゲームやメールは小学生は夜8時までの約束です。  
★1月30日から2月3日に市内全学校でメディアセレクト週間を実施します。見直しの機会にしてください。

25日は集金日です。  
よろしくお願ひいたします。

※始業式の校長の話を裏面に載せましたのでご覧ください。